

# SAITAMA MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

# SENIOR RESIDENT

## PROGRAM INFORMATION

埼玉医科大学病院

*High Quality Teaching General Hospital*



症例の多さ多彩さ、専門医の多さと高い質

16基本領域において基幹施設

高度な医療を提供するため診療センター化という体制整備

社会人大学院制度にて専門医研修と共に学位取得も可能

女性医師支援体制充実、時間勤務可能な勤務制度(常勤)

QR code : Homepage address



SAITAMA MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

# Saitama Medical University Hospital

Your Happiness is Our Happiness



# 埼玉医科大学病院は 16基本領域の 基幹施設です

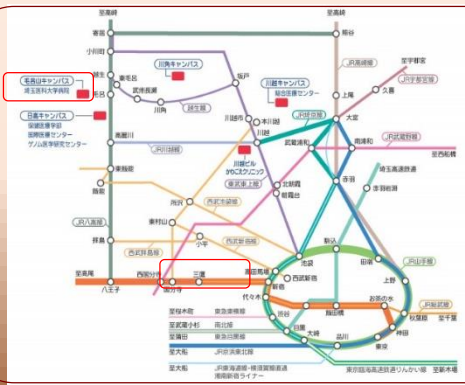
また、埼玉医科大学病院群においては  
3つの独立した機能をもった異なる  
病院の集合体で、3病院が連携し  
19基本領域すべてにおいて基幹施設  
となっています

新専門医制度の開始により専門医資格要件が厳しくなり  
地域の拠点となる総合病院以外では資格要件を満たす  
ことは困難になったと考えます。  
しかしながら、**埼玉医科大学病院**は  
埼玉県西部を中心とした地域医療を担うことから  
も圧倒的な患者数、豊富で多彩な症例数を誇り、  
16基本領域において効率的に資格要件を満たすことが  
可能な環境にあります。

本学3病院はそれぞれ異なる機能を持ち、  
その病院が誇る診療センター、高度救命救急センター、  
世界最大級の総合周産期母子医療センター、  
小児救命救急センター、  
全国の大学病院で初のJCI（国際病院評価機構）認証病院  
での最先端機器によるがん治療、心臓病、脳卒中を含む  
救命救急に特化した高度急性期病院機能等があります。  
それぞれ3病院が、連携施設となりどの病院でも  
多くの症例を経験でき、熱心な指導医が多く、  
指導・サポート体制もしっかりしているのも魅力です。

### 専攻医からのコメント（一例）

ここで後期研修を選択した理由は、  
臨床経験はもちろんのこと、社会人大学院生として、  
研修を行いながら研究にも従事することができる  
といった、恵まれた体制が整備されている点です。



### ▶電車を利用される方

#### 池袋駅より東武東上線をご利用の場合

- ①池袋駅より急行で坂戸駅まで約44分
- ②坂戸駅で東武越生線に乗り換えて東毛呂駅まで約15分
- ③東毛呂駅前より「埼玉医科大学行き」のバスに乗り、約5分まで到着  
(徒歩の場合は約20分)

#### 八王子駅よりJR八高線をご利用の場合

- ①八王子駅より高麗山駅（山越方面行き）まで約43分
- ②高麗山駅で高崎方面行きに乗り換えて、毛呂駅まで約36分
- ③毛呂駅から徒歩約3分まで到着

【 Contact 】  
QR code : e-mail address

基本領域専門医	埼玉医科大学病院
内科	基幹施設（定員20）担当：山本 Phone:049-276-1667
小児科	基幹施設（定員7）担当：秋岡 Phone:049-276-1219
皮膚科	基幹施設（定員5）担当：常深 Phone:049-276-1247
精神科	基幹施設（定員10）担当：松岡 Phone:049-276-1214
整形外科	基幹施設（定員8）担当：渡會 Phone:049-276-1238
産婦人科	基幹施設（定員5）担当：高村 Phone:049-276-1347
眼科	基幹施設（定員5）担当：渋谷 Phone:049-276-1250
耳鼻咽喉科	基幹施設（定員4）担当：細川 Phone:049-276-1253
泌尿器科	基幹施設（定員6）担当：篠島 Phone:049-276-1243
麻酔科	基幹施設（定員4）担当：今町 Phone:049-276-1270
病理	基幹施設（定員1）担当：山田 Phone:049-276-1446
臨床検査	基幹施設（定員1）担当：森吉 Phone:049-276-1175
救急科	基幹施設（定員3）担当：高平 Phone:049-276-1228
形成外科	基幹施設（定員4）担当：佐藤 Phone:049-276-1230
リハビリテーション科	基幹施設（定員4）担当：前田 Phone:049-276-1255
総合診療科	基幹施設（定員6）担当：小林 Phone:049-276-1667

【 Message 】

【 Access 】





【埼玉医科大学病院 内科専門医研修プログラム】

埼玉医科大学病院



QR code :研修情報URL

内科

【研修可能なサブスペシャリティー領域】

消化器病専門医、呼吸器専門医、血液専門医、内分泌代謝科専門医、糖尿病専門医、腎臓専門医、肝臓専門医、アレルギー専門医、感染症専門医、神経内科専門医、リウマチ専門医、消化器内視鏡専門医

プログラムの概要・特徴

●特性

1) 埼玉医科大学病院は昭和47年、埼玉県西北部に位置する入間郡毛呂山町に開設され、埼玉県西部地区にある大学病院として、50年間にわたって「すべての病める人に、満足度の高い医療を行う」基本理念の下に地域医療に貢献しています。現在、埼玉医科大学は大学病院、総合医療センター（川越市）、国際医療センター（日高市）の3つの病院と一つのクリニック（川越市）を有し、その規模は全国で最大規模の診療施設となっています。特定機能病院である大学病院は29の診療科と965床の入院ベッド数を揃え、埼玉県西部地区は基より埼玉県全域の中心的医療施設として重要な位置を占めています。

本プログラムは、埼玉医科大学病院を基幹施設として、埼玉県西部医療圏および近隣医療圏を守備範囲とし、必要に応じた可塑性のある、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるようにトレーニングを行います。

研修期間は基幹施設1.5年間以上+（特別）連携施設1.5年間以下の原則として3年間です。

2) 本研修プログラムでは、症例のある時点で経験するというだけでなく、主担当医として、入院から退院（初診・入院～退院・通院）まで可能な範囲で経時的に、診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括する“クリニカル・ガバナンス”を意識した患者の満足度向上に努める医療を実践します。

そして、個々の患者に最適な医療を提供する計画を立て実行する能力の修得と当院のミッションである「Your happiness is our happiness」の理解の下 Patient Centered Medicine の実践をもって目標への到達とします。

3) 研修開始後2年間（専攻医2年修了時）で、「研修手帳（疾患群項目表）」に定められた70疾患群のうち、少なくとも通算で45疾患群、120症例以上を経験し、日本内科学会専攻医登録評価システム（J-OSLER）に登録できます。そして、専攻医2年修了時点で、指導医による形式的な指導を通じて、内科専門医ボードによる評価に合格できる29症例の病歴要約を作成できます。

4) 連携施設が地域においてどのような役割を果たしているかを経験するために、原則として1年間（最低3ヵ月以上）、立場や地域における役割の異なる医療機関で研修を行うことによって、内科専門医に求められる役割を総合的に実践します。

5) 専攻医3年修了時で、「研修手帳（疾患群項目表）」に定められた70疾患群のうち、少なくとも通算で56疾患群、160症例以上を経験し、J-OSLERに登録できる体制とします。そして可能な限り、「研修手帳（疾患群項目表）」に定められた70疾患群、200症例以上の経験を目標とします。

プログラム委員長からのひとこと 山本 啓二

【 Message 】

●埼玉医科大学病院内科では、経験豊富な指導医による指導の下、数多くの症例を経験して、将来設計を見据えた、十分な知識と技術を持った内科医を育成することを目標とし、最先端医療からクリニックなどの地域医療を研修することができます。当院は埼玉県出身の専攻医が多く、出身大学は様々で、和やかな雰囲気です。現在10名の女性医師が研修中で、女性医師も大歓迎です。是非、当院内科専門医研修プログラムにご参加ください。

当該領域情報 (2022年現在)

- 医師数：118名、 ●指導医数：69名、 ●専攻医の主な出身大学：埼玉医科大学、金沢医科大学、秋田大学、日本大学、愛知医科大学、北海道大学、弘前大学、 ●他科研修の可能性：なし、 ●関連大学医局：なし、
- 病床数：270床、 ●1日平均外来患者数：624名、 ●1日平均入院患者数：257名、
- 過去3年間の入職実績：31名
- 連携施設数：20施設、 【連携施設名】

【相互連携】 埼玉医科大学総合医療センター 埼玉医科大学国際医療センター 日本赤十字社深谷赤十字病院

独立行政法人地域医療機能推進機構JCHO埼玉メディカルセンター SUBARU健康保険組合太田記念病院

【連携施設】 社会医療法人社団新都市医療研究会開越会開越病院 独立行政法人国立病院機構東埼玉病院 埼玉県立循環器・呼吸器病センター 独立行政法人地域医療機能推進機構JCHO埼玉メディカルセンター 医療法人熊谷総合病院 医療法人社団武蔵野会TMGあさか医療センター 日本赤十字社足利赤十字病院 社会福祉法人埼玉医療福祉会丸木記念福祉メディカルセンター 医療法人花仁会秩父病院 日本赤十字社小川赤十字病院 独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院 社会医療法人刀仁会坂戸中央病院 秩父市立病院 医療法人蒼龍会武蔵嵐山病院 医療法人社団幸生会在宅療養支援診療所北坂戸ファミリークリニック 医療法人山柳会塩味病院

【当該領域へのお問い合わせ先】

基本領域専門医

埼玉医科大学病院

内科

基幹施設（定員20）担当：山本  
Phone:049-276-1667



QRコード 担当宛メールアドレス



内科症例カンファレンスの風景

PROGRAM INFORMATION

Contact



QR code :研修情報URL

【研修可能なサブスペシャリティー領域】

周産期専門医、新生児専門医、小児循環器専門医、小児神経専門医

PROGRAM INFORMATION

### プログラムの概要・特徴

- 幅広い小児科専門領域を担当医として研修します。

本プログラムの最大の特徴は、学会をリードする総勢13人の教授・准教授の指導医によるトップクラスの研修を受けることが可能です。

### プログラム責任者からのひとこと 秋岡 祐子

【 Message 】

- 指導医、専門医、専攻医、初期研修医がチームになって診療を担当しています。

ベッドサイドでのリサーチクエストを出し合いながら、診療を臨床研究に結び付けようと努力しています。

一定の専門領域に偏ることなく、幅広く研修します。専攻医は「小児科医は子どもの総合医である」という

基本的姿勢に基づいて指導しています。

### 当該領域情報 (2021年現在)

- 医師数：31名、 ●指導医数：15名、
- 他科研修の可能性：研修者の希望に応じて、他科の研修を行うことも考慮します、
- 病床数：51床、 ●1日平均外来患者数：90名、
- 1日平均入院患者数：50名、 ●過去3年間の入職実績：10名

- 連携施設数：4施設、

#### 【連携施設名】

埼玉医科大学総合医療センター  
社会医療法人熊谷総合病院  
秩父市立病院  
埼玉医科大学国際医療センター

埼玉医科大学病院の小児科専用ホームページです

QR code :研修情報URL



### 【当該領域へのお問い合わせ先】

基本領域専門医

埼玉医科大学病院

小児科

基幹施設 (定員7) 担当：秋岡  
Phone:049-276-1219



QR code :担当宛てメールアドレス

Contact



# 基幹プログラム名

## 【埼玉医科大学 皮膚科研修プログラム】

埼玉医科大学病院

皮膚科



QR code :研修情報URL

【研修可能なサブスペシャリティー領域】  
皮膚悪性腫瘍専門医、アレルギー専門医

### プログラムの概要・特徴

●病棟診療・外来診療を通じて、皮膚科一般診療の知識の獲得を目標とし、さらに専門的な知識の修得をめざす。

### プログラム責任者等からのひとこと 教授 中村晃一郎 【 Message 】

●当院は、皮膚科の一般的な疾患から、皮膚悪性腫瘍、水疱症、軟部組織感染症など幅広く皮膚疾患の診療を経験できます。個々の症例に関して指導医が細かい対応を行っています。年間約160の手術（全身麻酔）があり豊富な症例を経験できます。

### 当該領域情報 (2021年現在)

- 医師数：17名、 ●指導医数：6名、 ●専攻医の主な出身大学：埼玉医科大学、金沢医科大学、信州大学、
- 他科研修の可能性：希望に応じて他科の研修をおこなうことも考慮します、
- 関連大学医局：聖マリアンナ医科大学、帝京大学、東京大学など、  
関連施設：青梅市立総合病院、深谷赤十字病院、静岡がんセンター
- 病床数：19床、 ●1日平均外来患者数：90名、 ●1日平均入院患者数：19名、
- 過去3年間の入職実績：4名

### ●連携施設数：11施設、【連携施設名】

【連携施設】埼玉医科大学総合医療センター皮膚科 埼玉医科大学国際医療センター皮膚腫瘍科 帝京大学医学部附属病院皮膚科  
東京大学医学部附属病院皮膚科 静岡県立静岡がんセンター皮膚科 さいたま赤十字病院皮膚科

【協力施設】深谷赤十字病院 小川赤十字病院 青梅市立総合病院 丸山記念病院 埼玉石心会病院

### 【当該領域へのお問い合わせ先】

基本領域専門医

埼玉医科大学病院

皮膚科

基幹施設（定員5）担当：常深  
Phone:049-276-1247



QR code :担当宛てメールアドレス

PROGRAM INFORMATION

Contact





QR code :研修情報URL

【サブスペシャリティ領域との連続性】以下の各機構・学会の専門医・認定医の取得が可能：
子どものこころ専門医機構専門、日本てんかん学会専門医、日本児童青年期精神医学会認定医、日本老年精神医学会専門医、日本精神科救急学会認定医、日本総合病院精神医学会専門医、日本臨床神経生理学会（脳波分野）専門医

プログラムの概要・特徴

●本研修プログラムの特徴は、基幹施設を中心として、我が国の実地臨床で遭遇するケースを網羅的にバランスよく体験できることである。その網羅性は、広さと深さを両立している。

1. 基幹施設での研修 基幹施設である埼玉医科大学病院 神経精神科・心療内科は2病棟78床と大学病院としては規模が大きく、一つは精神科救急入院料を算定する高規格の専門病棟、もう一つも精神科急性期医師配置加算を算定し精神身体合併症医療等に対応する専門的な病棟である。埼玉県内の精神科医療救急医療体制において重要な役割を果たしており、精神身体合併症患者の24時間365日常時対応施設として県内唯一の指定を受けている。こうした「最後の砦」としての役割を若手からベテランに至るまで能動的な気概をもって受け止めている。

その姿勢が、当科における診療の広さ、そして表面的に流されぬ深さに繋がっている。治療抵抗例にも積極的に対応する気分障害専門外来、きめ細かな診療が求められる児童青年期専門外来、大学病院精神科では稀なてんかん専門外来等を積極的に展開しているのも、こうした姿勢に由来している。なお当科では重症例のみならず、軽症～中等症の一般的な症例も子供から高齢者まで幅広く診療しており、将来医院開業を検討している医師に必要な研修も十分行うことができる。

2. 連携施設での研修 本プログラムの連携施設は多彩である。埼玉医科大学総合医療センターでは、コンサルテーション・リエゾンや一般外来を主体とした幅広い外来中心の診療が体験できる。埼玉医科大学国際医療センターでは、精神腫瘍科において癌患者およびその家族の精神的ケアを体験することができるほか、救命救急センターにおけるコンサルテーション・リエゾン診療を通じて自殺企図症例等への対応を経験できる。当院と同じ敷地内にある丸木記念福祉メディカルセンターでは、慢性期の精神疾患、認知症疾患医療センター、重症心身障害、などの診療が体験できる。県立精神医療センターでは、医療観察法病棟での診療、薬物依存の専門診療など、大学病院では学び難い症例を経験出来る。※他詳細は「研修施設群と研修プログラム」の項を参照

当該領域情報 (2021年現在)

- 医師数：22名、 ●指導医数：8名、 ●病床数：78床、 ●1日平均外来患者数：125名、 ●1日平均入院患者数：48名、 ●過去3年間の入職実績：6名 ●連携施設数：15施設、

- 補足：●検査数等
修正電気けいれん療法 127件
光トポグラフィー検査 67件
長時間ビデオ脳波検査 21件
心理検査 67件

【連携施設名等】：「研修施設群と研修プログラム」

- ①埼玉医科大学総合医療センター：コンサルテーション・リエゾンや一般外来を主体とした外来中心の診療を幅広く体験でき、認知行動療法等の各種精神療法につき理解を深めることができる。
②埼玉医科大学国際医療センター：癌患者のせん妄からこころのケア、さらには遺族外来に至るまでサイコオンコロジー全般につき貴重な体験ができるほか、救命救急センターでのコンサルテーション・リエゾンを通じ重度の自殺企図症例への対応が経験できる。
③丸木記念福祉メディカルセンター：慢性期精神疾患の社会復帰・リハビリテーション・多職種連携や認知症疾患医療センターとしての活動も見聞できるほか、重症心身障害施設における診療も体験できる。
④県立精神医療センター：医療観察法病棟における入院処遇対象者の診療や、アルコール・薬物依存症の専門的な診療等の貴重な経験ができる。
⑤社会福祉法人シナプス埼玉精神神経センター：県立精神科救急医療の一翼を担うほか、認知症や他の神経変性疾患の診療を積極的に展開しており、こうした神経疾患の精神症状治療について経験できる。
⑥都立松沢病院：我国で代表的な精神科病院で東京都の行政精神科医療で中核的な役割を担っており、精神科救急、身体合併症、医療観察法、薬物依存症から社会復帰・リハビリテーションに至るまであらゆる領域を経験することができる施設である。
⑦福岡大学病院：地域の中核的な総合病院でもあり、身体合併症やコンサルテーション・リエゾン等につき経験できるほか、精神分析的療法等につき学ぶ環境が充実している点が特徴である。以下の精神科病院・医院は地元の地域精神医療を担い設立者の臨床哲学に応じた特色ある診療を行っており、貴重な体験ができる：
⑧三信会岸病院、⑨碧水会汐ヶ崎病院、⑩松風荘病院、⑪つむぎ診療所、⑫西熊谷病院、⑬東松山病院、⑭武蔵の森病院、⑮山口病院

【当該領域へのお問い合わせ先】

基本領域専門医

埼玉医科大学病院

精神科

基幹施設（定員10）担当：松岡
Phone:049-276-1214



QR code :担当宛てメールアドレス







QR code :研修情報URL

【埼玉医科大学産婦人科専門研修プログラムは、専門医資格取得後における産婦人科領域と関連領域のSubspecialty 専門医資格を取得することを推奨しています。】※全てのSubspecialty 領域で指導体制が充実！

### プログラムの概要・特徴

●埼玉医科大学専門研修プログラムでは、埼玉医科大学病院産科婦人科と埼玉医科大学国際医療センター婦人科腫瘍科を基幹施設とし、関連する連携施設とともに研修施設群を形成して、専攻医の指導にあたります。埼玉医科大学病院産科婦人科では、婦人科悪性腫瘍の専門治療をのぞくすべての産婦人科領域の研修が可能で、各Subspecialty 領域の専門医が指導医として専攻医指導にあたります。埼玉医科大学国際医療センター婦人科腫瘍科は、包括的がんセンター内にあり、他科との密接な連携をとった婦人科腫瘍領域の研修が可能で、婦人科腫瘍専門医が指導医として専攻医指導にあたります。しかし、大学病院とは異なり、地域性と医療資源に差異のあるさまざまな連携施設における一定期間の研修を行うことにより、専攻医は、産婦人科領域のプライマリーケアをはじめとする大学では経験できない特色ある多様な地域医療を経験すると共に、産婦人科医療に対するニーズの多様性、地域連携、医療機関の機能分担の必要性・重要性も習得することができます。なお、各産婦人科専攻医の研修施設、期間などについては、個々の希望と各施設の状況により、埼玉医科大学産婦人科専門研修プログラム管理委員会が決定します。

### プログラムの具体例

●埼玉医科大学産婦人科専門研修プログラムは、3年間の研修により、十分に修了要件を満たし、専門医としての技能を習得し、産婦人科専門医試験を受験することが見込まれます。しかし、病気、出産・育児、留学など、さまざまな理由により3年間で研修を修了できなかった場合には、1年単位で研修期間を延長し、産婦人科専門医試験を受けることもできます。基幹施設における研修に加え、各連携施設への2ヶ月から1年間のローテーションを行うことを基本としています。各大学病院では産科救急、婦人科救急など搬送例や胎児診断、高度生殖医療などのための紹介例など、高次施設として先端医療について研修することができます。一方、ローテーションにより、それぞれの施設が有する特色ある医療や地域密着型の医療を経験することが可能です。また、医療チームの中で、より中心的な役割を示すことを要求されます。

### Subspecialty 専門医および学位の取得に向けたプログラム（取得のための研修が可能な資格）

- 日本周産期・新生児医学会 母体・胎児専門医
- 日本生殖医学会 生殖医療専門医
- 日本産科婦人科内視鏡学会 技術認定医
- 日本超音波医学会 超音波専門医
- 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医
- 日本女性医学学会 女性ヘルスケア専門医
- 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医

### 当該領域情報 (2021年現在)

- 医師数：21名、 ●指導医数：9名、 ●病床数：47床、 ●1日平均外来患者数：79名、 ●1日平均入院患者数：44名、 ●過去3年間の入職実績：3名、 ●その他、検査数等：分娩602件、帝王切開225件、腹腔鏡・子宮鏡217件、開腹・子宮脱214件
- 連携施設数：14施設、 【連携施設名】

【連携施設】埼玉医科大学国際医療センター 横田マタニティーホスピタル 社会医療法人社団尚篤会赤心堂病院 埼玉医科大学総合医療センター 埼玉県立がんセンター 深谷赤十字病院 医療法人岩田産婦人科医院 学校法人北里研究所北里大学メディカルセンター さいたま赤十字病院 河北総合病院 公益社団法人地域医療振興協会練馬光が丘病院 ウィメンズクリニックふじみ野 社会医療法人熊谷総合病院 さいたま市立病院

### 【当該領域へのお問い合わせ先】

基本領域専門医

埼玉医科大学病院

産婦人科

基幹施設（定員6）担当：高村  
Phone:049-276-1347

QR code :担当宛てメールアドレス



### 基幹施設での指導体制

- |             |                |
|-------------|----------------|
| 生殖・内分泌      | 腹腔鏡・子宮鏡        |
| 生殖医療専門医 6名  | 婦人科内視鏡学会認定医 3名 |
| 周産期         | 遺伝             |
| 周産期専門医 3名   | 臨床遺伝専門医 4名     |
| 腫瘍          | 超音波            |
| 婦人科腫瘍専門医 7名 | 超音波専門医 2名      |
| 女性ヘルスケア     |                |
| 女性医学会専門医 1名 |                |

すべてのサブスペシャリティ領域で指導体制が充実しています！！

※常勤医師のみ記載





【埼玉医科大学 眼科専門研修プログラム】

埼玉医科大学病院

眼科



QR code : 研修情報URL



PROGRAM INFORMATION

プログラムの概要・特徴

●プログラムの目的

眼科疾患は小児から高齢者まで幅広い年齢層が対象で、内科的治療だけでなく外科的治療も必要とし、幅広い医療技能の習得が求められています。

埼玉医科大学眼科専門研修プログラムでは、以下のような眼科医の育成を目的とします。

1. 一般眼科学に精通するとともに、一人一人が専門分野を身につけ最新の知識・技術を日常診療に役立てることが出来る眼科医
2. 総合病院の眼科医として診療するのに必要かつ十分な技術を身につけ、将来地域の基幹病院で活躍できる眼科医
3. 研究マインドを持ち、エビデンスに基づいて科学的に思考できる眼科医

プログラム責任者からのひとこと 篠田 啓

【 Message 】

●こんにちは、埼玉医科大学アイセンターのホームページにご訪問くださりありがとうございます。

埼玉医科大学毛呂病院は埼玉県西部地区と周辺地域の中核病院で、地域の先生方と協力して患者さんの診療にあたっています。

2009年にアイセンターを開設し、医師のほか視能訓練士、看護師、薬剤師、栄養士、メディカルアシスタント、医療工学士、クラークなど複数の専門職員が眼科専属となって構成されたチームで日々、臨床、教育、研究に取り組んでいます。

眼はとても小さな臓器ですが、その中に広がる世界は広大で神秘的にあふれまるで小宇宙です。眼科は外科学と内科学の両方を有し、また前眼部から後眼部、そして大脳視覚中枢までの視覚に関わるすべての組織に関して、診断から治療までのすべてを担当します。その意味で眼科医は極めて高い専門性を持ったプロです。

アイセンターのスタッフは自信と誇りをもってチーム医療を実践しています。

今後まだまだ続く超高齢化社会において視覚を保つことは健康寿命を延ばす大きなキーですから眼科医のニーズと責務は増すばかりです。

アイセンターのメンバーは皆それぞれ家庭人として、親として、地域のコミュニティの一員としてなど、複数の立場を持ちながらプロの医療人として活躍しています。教室では相手の立場や価値観を尊重しお互いに高めあう雰囲気大切にしています。

若い医師もベテランの医師も常に新しいことに挑戦し、慣習や固定概念にとらわれず、協力しながら自分をそして教室を進化させています。

埼玉医大アイセンターに興味を持ってくれた方は是非気軽に連絡をください。出身大学、研修施設、国籍を問わずアイセンターに参加してくれる方ウエルカムです。

一人一人の考えでみんなの教室を創っていきましょう。

当該領域情報

●詳細はこちらのQRコードよりご参照ください

●連携施設数: 16施設、【連携施設名】

埼玉医科大学総合医療センター 亀田総合病院 帝京大学医学部付属病院 杏林大学医学部付属病院 慶應義塾大学病院 横浜国立大学附属病院 東海大学医学部付属病院 日本大学医学部附属板橋病院 国立成育医療研究センター 国立病院機構埼玉病院 丸山記念総合病院 明海大学歯学部附属明海大学病院 東海大学医学部附属八王子病院 熊谷総合病院 等



【当該領域へのお問い合わせ先】

基本領域専門医	埼玉医科大学病院
眼科	基幹施設 (定員6) 担当: 渋谷 Phone: 049-276-1250



QR code : 担当宛てメールアドレス



Contact



QR code :研修情報URL

### プログラムの概要・特徴

●当医局は耳、鼻副鼻腔、喉頭、頭頸部の各専門家が在籍しており、幅広い経験が可能です。

都内の国立国際医療研究センター、日高の埼玉医科大学国際医療センターのがん・心臓病・救急センターと連携もしており幅広い研修が行えます。国内有数の手術件数を経験できます。

各分野で最先端の診療を経験し、立派な耳鼻咽喉科医師になれます。

研修医向けハンズオンセミナーを主催しており参加が可能です。耳鼻咽喉科医局までお気軽にご連絡下さい。

### プログラム担当者からのひとこと 細川 悠 【 Message 】

●埼玉県は人口に対する耳鼻科医数が少ないため、多くの患者さんが当院を受診されます。

若手のうちに多くの経験ができるのは、後の医師人生において貴重なことです。

手術件数もかなり多く、指導医も揃っているため充実した研修生活が送れると思います。

仕事だけでなくプライベートも尊重しますので、レジデントの生活に合わせたプログラムを組んでいます。

基礎研究、臨床研究も行なっていますので、研究をしたい先生も大歓迎です。

### 当該領域情報 (2021年現在)

- 医師数：10名、他非常勤医師7名
- 指導医数：5名、
- 専攻医の主な出身大学：埼玉医科大学 秋田大学 弘前大学
- 他科研修の可能性：なし、 ●関連大学医局：なし、
- 病床数：17~20床、
- 1日平均外来患者数：60名、
- 1日平均入院患者数：17名、
- 過去3年間の入職実績：5年次1名

### ●連携施設数：5施設、【連携施設名】

埼玉医科大学国際医療センター 国立国際医療研究センター  
帝京大学医学部附属病院 埼玉医科大学総合医療センター  
東京医科歯科大学附属病院



緊急気道確保！ハンズオンセミナー



ハンズオンセミナーの風景

### 【当該領域へのお問い合わせ先】

基本領域専門医

埼玉医科大学病院

耳鼻咽喉科

基幹施設 (定員4) 担当：細川  
Phone:049-276-1253

QR code :担当宛てメールアドレス



PROGRAM INFORMATION

Contact





QR code :研修情報URL

## プログラムの概要・特徴

●埼玉医科大学3病院泌尿器科専門研修プログラムにおける専門研修施設群は、埼玉医科大学病院を基幹施設として、都内・地方拠点病院からなる26の連携施設から構成される。

また、これらの施設は埼玉県内の南西部、さいたま、県央、川越比企、西部、利根、北部に存在し、さらに、都内の7病院を含めて幅広い地域性を有する施設群からなる。

本研修施設群は、女性泌尿器科、ED・性機能障害、腹腔鏡手術、小切開手術などの領域を専門的に実施する連携病院を擁し、またロボット支援手術を実施する地域拠点病院も参画している。基幹施設および連携施設の27施設では、年間3000件以上(合計の算出の際は複数のプログラムと連携する施設の手術件数は按分されたものを使用)の泌尿器科手術を行っている。以上のような本専門研修プログラムの特性から、一般的な泌尿器科診療に加えて、量的にも質的にも多彩な専門的診療を研修する機会が得られる。

## プログラム責任者からのひとこと 篠島 利明

## 【 Message 】

●埼玉医大3病院(特定機能病院の大学病院、JCI認証の国際医療センター、“スーパー”総合病院の総合医療センター)が合同で作成したプログラムです。地域医療の「最後の砦」ならではの多彩な症例が経験できます。

## 当該領域情報 (2021年現在)

- 医師数：6名、(プログラムに登録されている医師数81名) ●指導医数：4名、
- 専攻医の主な出身大学：埼玉医科大学、聖マリアンナ医科大学、岩手医科大学、鹿児島大学
- 他科研修の可能性：なし、 ●関連大学医局：慶應義塾大学泌尿器科や日本大学泌尿器科が連携施設です、
- 病床数：15床、 ●1日平均外来患者数：65名、 ●1日平均入院患者数：16名、
- 過去3年間の入職実績：3名
- 連携施設数：26施設、【連携施設名】

埼玉医科大学総合医療センター 埼玉医科大学国際医療センター 上尾中央総合病院 行田総合病院 坂戸中央病院 埼玉石心会病院 赤心堂病院 関越病院 イムス三芳総合病院 小川赤十字病院 深谷赤十字病院 川口市立医療センター 埼玉県立小児医療センター 春日部市立医療センター 東松山市立市民病院 さいたま市立病院 日本大学医学部付属板橋病院 日本大学病院 慶應義塾大学病院 三田病院 立川病院 小児総合医療センター 済生会横浜市東部病院 けいゆう病院 栃木医療センター 公立福生病院

## 【当該領域へのお問い合わせ先】

基本領域専門医

埼玉医科大学病院

泌尿器科

基幹施設(定員8) 担当：篠島  
Phone:049-276-1243

QR code :担当宛てメールアドレス



## 埼玉の地域医療の最後の砦で...



少人数だからこそ受けられる濃密研修!





QR code :研修情報URL

**プログラムの概要・特徴**

●本研修プログラムは、日本専門医機構の専門研修プログラム整備基準に準拠して、麻酔科専門研修を行う。すなわち、安全で質の高い周術期医療および麻酔科関連分野である集中治療や緩和医療、ペインクリニック、救急医療の分野の診療を実践できる専門医を育成することが目標である。

本研修プログラムでは、専門研修基幹施設である埼玉医科大学病院、専門研修連携施設Aの埼玉県立小児医療センター、栃木県立がんセンター、上都賀総合病院、国立国際医療研究センター国府台病院、埼玉医科大学国際医療センター、埼玉医科大学総合医療センター、旭中央病院、国立国際医療研究センター病院、埼玉県厚生連熊谷総合病院、専門研修連携施設Bの国立病院機構浜田医療センター、東京都立神経病院、小川赤十字病院、多摩総合医療センターにおいて、専攻医が整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる専攻医教育を提供し、十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科専門医を育成する。

本研修プログラムの実施に当たっては、専門研修の修練プロセスと各専攻医の研修進捗状況に配慮しながら、最大限の教育効果と最良の診療結果を目指す。同時に、過酷勤務を排除と、リサーチマインドの育成も重点項目である。過酷勤務は、長時間連続労働、研修進捗度から大きくかけ離れた診療等が含まれるが、一方で、「専攻医以外の過酷勤務をいかにして解決するか？」という専攻医自身の相互扶助の視点も重要である。

**専門研修で得られる成果（アウトカム）**

●麻酔科領域の専門医を目指す専攻医は、4年間の専門研修を修了することで、安全で質の高い周術期医療およびその関連分野の診療を実践し、国民の健康と福祉の増進に寄与することができるようになる。具体的には、専攻医は専門研修を通じて下記の4つの資質を修得した医師となる。

- 1) 十分な麻酔科領域、および麻酔科関連領域の専門知識と技能
- 2) 刻々と変わる臨床現場における適切な臨床的判断能力、問題解決能力
- 3) 医の倫理に配慮し、診療を行う上での適切な態度、習慣
- 4) 常に進歩する医療・医学に則して、生涯を通じて研鑽を継続する向上心

麻酔科専門研修後は、大学院への進学やサブスペシャリティ領域の専門研修を開始する準備も整っており、専門医取得後もシームレスに次の段階に進み、個々のスキルアップを図ることが出来る。

**当該領域情報** (2021年現在)

- 医師数：21名、 ●指導医数：11名、 ●1日平均外来患者数：11名、 ●過去3年間の入職実績：2名
- 連携施設数：13施設

**【当該領域へのお問い合わせ先】**

基本領域専門医

埼玉医科大学病院

麻酔科

基幹施設（定員4）担当：今町  
Phone:049-276-1270

QR code :担当宛てメールアドレス



QR code :研修情報URL

PROGRAM INFORMATION

プログラムの概要・特徴

○プログラムにおける目標 [整備基準2-②]

本専門研修プログラムでは、診断技能のみならず、臨床検査技師や臨床医との連携や難解症例の扱いを習得することにより、地域基幹病院にて即戦力として活躍することが期待できる一方で、教育者や研究者など幅広い進路に対応できる経験と技能を積むことが望まれる。専攻医は、常に研究心・向上心をもって検討会やセミナーなどに積極的に参加し研鑽を積んで、生涯にわたり自己学習を続けるとともに、自己を正しく認識し対象がその限界を超えると判断した時は、指導医や専門家の助言を求める判断力が要求される。設備や機器についても知識と関心を持ち、剖検室や病理検査室などの管理運営に支障がでないよう対処する必要がある。

○プログラムの実施内容 [整備基準2-③]

1 経験できる症例数と疾患内容 [整備基準2-③ i、ii、iii]

本専門研修プログラムでは、組織診断や迅速診断に関しては受験資格要件となる症例数の2倍以上の症例を経験可能である。また、不足が懸念される解剖症例に関しては、経験症例数の少ない専攻医に優先的に割り当てており、基幹施設以外にも解剖を経験できる連携病院を有効活用することにより十分な症例数を用意することが可能である。疾患の内容としても、埼玉県西部の地域医療を担う当施設を中心として、包括的がんセンターを擁する埼玉医科大学国際医療センターなど組織診断が年間約10000件を数える大規模病院と複数連携しており、各地域の中核病院などとも連携することで豊富な症例を経験できる環境が整っている。専攻医の年次や習得状況に応じてこれらの病院の中から適切な環境の病院に派遣することにより、基幹施設である埼玉医大病院だけでは十分に経験できない領域の症例の経験を積むことが可能である。

2 カンファレンスなどの学習機会

本専門研修プログラムでは、個々の症例の診断を通じて知識を蓄積していくことにより、診断に直結した形で学ぶ一方で、各種のカンファレンスや勉強会に参加することにより希少症例や難解症例に触れる機会が多く設けられている。また、各サスペンシャルティを有する病理専門医からのレクチャーにより、より専門的な知識の整理・習得が可能である。

3 地域医療の経験 (病診・病病連携、地域包括ケア、在宅医療など) [整備基準2-③iv]

本専門研修プログラムでは、病理医不在の病院への出張診断 (補助)、出張解剖 (補助)、迅速診断、標本運搬による診断業務等の経験を積む機会を用意している。

4 学会などの学術活動 [整備基準2-③v]

本研修プログラムでは、専攻医は病理学会総会における学会発表は必須としている。また、解剖症例に関しては、特に学術的に意義深い症例は外部雑誌への投稿を推奨している。

当該領域情報 (2021年現在)

●医師数：6名、 ●指導医数：4名、 ●連携施設数：6施設、

【連携施設名】

埼玉医科大学国際医療センター 埼玉医科大学総合医療センター
群馬大学医学部医学部付属病院 公立富岡総合病院
済生会宇都宮病院 国立病院機構西埼玉中央病院

○研修連携施設

1. 専門医研修基幹病院および研修連携施設の一覧 [整備基準5-①②③、6-②]

Table with 10 columns: 施設名, 担当領域, 施設分類, 病床数, 専任病理医, 病理専門医, 剖検数, 組織診, 迅速診, 細胞診. It lists various hospitals and their associated statistics for the pathology training program.

※ ( ) 内は本プログラムに投入される教育資源数です。

【当該領域へのお問い合わせ先】

基本領域専門医

埼玉医科大学病院

病理

基幹施設 (定員1) 担当：山田
Phone:049-276-1446



QR code :担当宛てメールアドレス

Contact



QR code :研修情報URL

## プログラムの概要・特徴

- 1) 埼玉医科大学臨床検査研修プログラムの目的と使命  
埼玉医科大学臨床検査専門研修プログラムの目的と使命は以下の5点にまとめられます。
  - 1) 専攻医が臨床検査に関する知識、技能を習得すること。
  - 2) 専攻医が臨床検査を通して診療に貢献すること。
  - 3) 専攻医が臨床検査の研究法を習得すること。
  - 4) 専攻医が医師として適切な態度と高い倫理性を備えることにより、患者・メディカルスタッフに信頼され、プロフェッショナルとしての誇りを持つこと。
  - 5) 臨床検査専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること。

臨床検査はEvidence Based Medicineにおける客観的な指標として、診療にかかせないものです。臨床検査の全般において、その品質の向上と維持に努め、適切かつ信頼性の高いサービスを通して良質で安全な患者診療に貢献する専門医が臨床検査専門医です。そのような専門医を育成すべく、埼玉医科大学臨床検査専門研修プログラムにおいては指導医がみなさんの教育・指導にあたりますが、みなさんも主体的に学ぶ姿勢をもつことが大切です。本研修プログラムでの研修後に皆さんは、臨床検査の基礎医学的背景、方法論、臨床的意義を十分に理解し、それを元に医師をはじめ他のメディカルスタッフと協力して適正な医療の実践に貢献することになります。

具体的な例として、 $\gamma$ -GTという検査項目を取り上げて臨床検査専門医を特徴づけてみます。この項目が胆汁うっ滞やアルコール飲酒で高値となることは医学生でも知っています。しかし、なぜ高値になるのかを説明するためには、この物質がどのように合成され(アルコールやある種の薬剤で誘導される)、どのように代謝される(本来は肝細胞膜に存在し、胆汁中に排泄されるが閉塞機序で血流に入る)のかを知る必要があります。また、値付けの根拠やその標準化、測定法の概要の知識を持つことは、信頼できるデータを提供するため、または思わぬ検査エラーにも対処するために必要なことです。このように、臨床検査専門医は臨床検査医学、臨床医学全般に関わる総合的な科学者と位置づけられます。この学際的な側面は、診療だけでなく研究にも参画できる能力を発揮することになります。

本研修プログラムでは、臨床検査医学総論、一般臨床検査学・臨床化学、臨床血液学、臨床微生物学、臨床免疫学・輸血学、遺伝子関連検査学、臨床生理学の基本7科目の研修を行います。基幹施設である埼玉医科大学病院で、多くの研修を行います。また、連携施設での研修を行うことにより、深みのある研修となるように工夫しています。

研修の修了が認定されたら専門医認定試験の受験資格が与えられます。この試験に合格すると、臨床検査専門医となります。臨床検査専門医には、さらに経験を積み大規模中規模施設の臨床検査部門を管理・運営すること、指導医となって現在は数少ない臨床検査専門医を育成すること、教育研究機関において臨床検査医学の教育研究を担うことが期待されます。

## 2) カリキュラム制研修について

初期臨床研修後の専攻医、それ以外でも希望する専攻医には、このプログラムに即した研修をしてもらいます(プログラム制)。一方、臨床検査専門医を目指す者として、初期臨床研修後すぐに専攻医となるのはもちろんのこと、他領域で経験を積んだ後に当該専門領域のキャリアを踏まえて、より検査診断に特化した力量と資質の習得を目指すことも重要です。臨床検査をストレート研修した者と、様々な経験の後に研修した者、両者が横断性のある臨床検査専門医の集団を形成していくことが、臨床検査医学の発展およびそれに基づく良質かつ安全な患者診療の提供に貢献します。臨床経験豊富な他基本領域専門医取得者には、初期臨床研修修了後の専攻医と同じプログラム制の研修はそぐわないと考えられ、この場合は、カリキュラム制の研修を行うことを可能とします。また、初期臨床研修修了後に義務年限を有する場合や、特別な事情でプログラム制の研修が困難な場合にもカリキュラム制研修を選択できます。カリキュラム制とは、研修の形態の詳細は問わず、到達目標を達成すれば認定試験受験資格を与えるものです。本プログラムは初期臨床研修直後のプログラム制によるストレート研修を想定したものです。カリキュラム制の専攻医についても適宜記載してありますので、担当箇所を注意して読んでください。

## 3) 日本臨床医学学会について

日本臨床検査医学学会は、日本医学会の基本領域の学会であり、臨床検査専門医制度を日本専門医機構の一員として運営しています。制度の運営だけでなく、講習会などの提供、研修施設の指導を通して、専攻医の研修をサポートします。専攻医は会員であることが要件になりますので、研修開始後すみやかに入会手続きをとってください。

## 当該領域情報 (2021年現在)

●医師数：2名、 ●指導医数：1名、

●連携施設数：2施設、 【連携施設名】 埼玉医科大学総合医療センター、 埼玉医科大学国際医療センター

## 【当該領域へのお問い合わせ先】

基本領域専門医

埼玉医科大学病院

臨床検査

基幹施設(定員1) 担当：森吉  
Phone:049-276-1175

QR code :担当宛てメールアドレス



## 【Subspecialty 領域について】

臨床検査専門医の Subspecialty 領域は現時点ではまだ決まっていません。

想定される専門医には、感染症専門医、超音波専門医、臨床遺伝専門医、人間ドック健診専門医などがあり、どれも本研修と連続性を持った追加の研修が可能です。





QR code :研修情報URL

【研修可能なサブスペシャリティー領域】  
集中治療専門医、外傷専門医、感染症専門医

### プログラムの概要・特徴

当院の救急医療研修は内科救急（疾病救急）や外傷やマイナー救急と言われる分野に加え臨床中毒、緩和医療を含めたあらゆる病態の患者に対応できる「Emergency Physician」の育成を目的とする。

救急医療は、国や地域によってそれぞれ異なった方式で展開されているが、本邦においては従来外傷・重症患者の救命救急医療を中心として発展してきた。しかし高齢社会の到来や道路交通法の改正による重症外傷患者の減少などから救急医療の疾病構造が変化し、従来の救急疾患に加えcommon diseases に対する初期対応を求められる機会が多くなってきている。当院は総合病院である一方で僅か2.5Kmの距離にある埼玉医大国際医療センターが心臓病センター・脳卒中センターとして心疾患・脳卒中の診療を行うほか痛の専門治療も担当し、重症外傷への対応は同院救命救急センターが行っている。これは二次救急病院である当院救急科の役割とは相補的な関係となっており、それぞれの特徴を生かした診療が行われている。

当院での救急研修は初期診療（プライマリケア）を主眼とし、心疾患や脳卒中についても診断からリスク評価、初期治療に続きdisposition（帰宅、経過観察、転院）の判断・決定も救急医が行っている。

当院救急科研修の大きな特徴は広い領域の傷病について様々な重症度の病態を経験し、それらに対する初期対応の技術を身に付けられることである。これは将来救急医だけに限らず他の診療科や地域医療を希望する医師にとっても非常に価値あるスキルとなるであろう。

本研修プログラムによる専門研修により、以下の能力を備えることを目標とする。

- 1) 様々な緊急度の疾病/外傷の救急患者に、適切な初期診療（プライマリケア）を行える。
- 2) 複数患者の初期診療に同時に対応でき、優先度を判断（トリアージ）できる。
- 3) 中毒患者への初期治療および集中治療が行える。
- 4) 急性/慢性、がん/非がん、年齢を問わず「ロコモ」や「フレイル」を評価して、その予防を行い精神的、肉体的苦痛を取り除くことができる。
- 5) 他の診療科や医療職種と連携・協力し良好なコミュニケーションのもとで診療を進めること（医療連携）ができる。
- 6) 必要に応じて病院前診療（プレホスピタルケア）を行える。
- 7) 救急診療のに関する臨床研究および学術学会・学術雑誌での発表を通して学習し救急診療に関する教育指導が行える。
- 8) 救急患者の受け入れや診療に際して倫理的配慮を行い救急患者や救急診療に従事する医療者の安全を確保できる

### 救急科専門研修の実際

#### ① 臨床現場での学習

- 1) 救急診療や手術での実地修練（on-the-job training）
- 2) 診療科におけるカンファレンス・勉強会への参加 など

#### ② 臨床現場を離れた学習（off-the-job training course）

学術集会、セミナー、講演会およびJATEC、JPTECコース（参加費用は研修プログラムで負担）。

救急科領域で必須のICLS（AHA/ACLSを含む）コースおよびインストラクターコースを履修できるように配慮する。

また本専門研修プログラムによる救急科専門医取得後には、サブスペシャリティ領域である「集中治療医学領域専門医研修プログラム」に進むことや、救急科関連領域の専門医取得を目指す臨床研修や医学博士号取得を目指す研究活動を選択することが可能。

### 当該領域情報（2021年現在）

- 医師数：5名、 ● 指導医数：4名、
- 病床数：10床、 ● 1日平均外来患者数：4名、 ● 1日平均入院患者数：9名、
- 過去3年間の入職実績：1名

- 連携施設数：2施設、 【連携施設名】 さいたま赤十字病院、埼玉石心会病院

### 【当該領域へのお問い合わせ先】

基本領域専門医

埼玉医科大学病院

救急科

基幹施設（定員3）担当：高平  
Phone:049-276-1228



QR code :担当宛てメールアドレス



QR code :研修情報URL

【研修可能なサブスペシャリティ領域】  
美容外科専門医

### プログラムの概要・特徴

- 埼玉県西部地域に拠点を置く埼玉医科大学の3病院を中心に、関東圏の関連施設において形成外科の専門研修を行う。創傷外科、頭蓋顎顔面外科、皮膚腫瘍外科、小児形成外科、マイクロ再建外科等多様な症例を経験することが可能です。関連施設には大学病院、地域中核病院、専門病院（小児、再建外科など）が含まれます。

### プログラム責任者からのひとこと 時岡 一幸 【 Message 】

- 基幹施設の埼玉医科大学病院では、難治性潰瘍（褥瘡など）、先天性疾患、腫瘍など幅広い疾患を経験することができます。その他、再建外科や小児先天性疾患の専門施設で研鑽を積むこともできる、幅広い研修プログラムです。

### 当該領域情報 (2021年現在)

- 医師数：15名、 ● 指導医数：7名、 ● 専攻医の主な出身大学：埼玉医科大学、徳島大学、三重大学
- 他科研修の可能性：研修者の希望に応じて他科の研修を行うことは可能です。ただし、基幹施設の医師数や関連施設における受け入れ状況によって左右されます、
- 関連大学医局：東京大学、杏林大学、自治医科大学、帝京大学など、その他、国保旭中央病院、静岡県立こども病院など
- 病床数：50床、 ● 1日平均外来患者数：50名、 ● 1日平均入院患者数：60名、
- 過去3年間の入職実績：7名
- 連携施設数：10施設、 【連携施設名】  
【連携施設】埼玉医科大学国際医療センター 埼玉医科大学総合医療センター 東京大学医学部附属病院 杏林大学医学部附属病院 自治医科大学附属病院 帝京大学医学部附属病院 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院 社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院 地方独立行政法人静岡県立病院機構静岡県立こども病院 豊岡第一病院

### 【当該領域へのお問い合わせ先】

基本領域専門医

埼玉医科大学病院

形成外科

基幹施設（定員4）担当：佐藤  
Phone:049-276-1230

QR code :担当宛てメールアドレス



医局員の集合写真

PROGRAM INFORMATION

Contact



QR code :研修情報URL

### プログラムの概要・特徴

●大学病院入院中で、リハビリテーション治療が必要な全診療科の患者さんの治療を行っており、急性期疾患が多いのが特徴です。

中でも、運動器、嚥下、痙縮、がんのリハビリテーション治療を得意としています。

様々な疾患を経験することができ、教育体制も充実しています。

気軽に見学においでください。

### プログラム責任者からのひとこと 篠田 裕介

Message

●当プログラムでは、国際医療センター、総合医療センターの他、県内に多数の連携病院があります。

東京大学や慶應義塾大学医局とのつながりがあり、都内にも多数の連携病院があるため、幅広く

リハビリテーション治療を学ぶことができます。

理学所見や画像所見をもとに診断し、患者の機能を最大限に回復・活用し、ADLを向上させるための、

総合的な技術を習得します。

### 当該領域情報 (2021年現在)

- 医師数：6名、 ●指導医数：4名、 ●専攻医の主な出身大学：埼玉医科大学、藤田医科大学
- 他科研修の可能性：研修者の希望に応じて他科の研修を行うことも考慮します、
- 関連大学医局：東京大学、慶應義塾大学、
- リハビリ治療実施件数 7250件/月、 ●入院患者数：初診患者 430人/月、
- 過去3年間の入職実績：3名
- 連携施設数：11施設、 【連携施設名】

【連携施設】埼玉医科大学総合医療センター 社会福祉法人埼玉医療福祉会光の家療育センター 社会医療法人財団石心会埼玉石心会病院  
 医療法人若葉会若葉病院 埼玉医科大学国際医療センター  
 独立行政法人国立病院機構東埼玉病院 医療法人社団健育会ねりま健育会病院  
 東京都立神経病院 独立行政法人国立病院機構東京病院  
 東京大学医学部附属病院

### 【当該領域へのお問い合わせ先】

基本領域専門医

埼玉医科大学病院

リハビリテーション科

基幹施設（定員2）担当：前田  
Phone:049-276-1255

QR code :担当宛てメールアドレス



医局員の写真

PROGRAM INFORMATION

Contact





QR code :研修情報URL

### プログラムの概要・特徴

●当院は特定機能病院でありながら、周辺を住宅地で囲まれ、埼玉県西部医療圏・近隣医療圏を中心とした地域の拠点病院としても機能しています。このプログラムを経験することで埼玉県医療圏の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的で高度な医療を行えるようになります。また、内科専門医PGとのダブルボード研修体制にも準備を進めております。

### プログラム担当者からのひとこと 小林 威仁 【 Message 】

●「断らない医療」「患者の主治医」を理念に掲げ、広い視野から診療し、常に全人的な診療を継続的に実行できる医師の育成を目指しています。また地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看とり、さらに福祉活動等にも地域の施設との連携を中心に取り組んでいます。絶えざる自己研鑽を重ねながら人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応できる医師の育成体制を確立しており、ダブルボードにも順応体制を整えております。

### 当該領域情報 (2021年現在)

- 医師数：30名、 ●指導医数：9名、
- 専攻医の主な出身大学：埼玉医科大学、獨協医科大学、等
- 他科研修の可能性：複合研修可能（地域医療科、他各科）、ダブルボードおよびサブスペ研修対応整備対応中
- 関連大学医局：埼玉医科大学 総合医療センター 防衛医科大学校、
- 病床数：50床、 ●1日平均外来患者数：76名、
- 1日平均入院患者数：67名、 ●過去3年間の入職実績：4名

### ●連携施設数：14施設、【連携施設名】

- 【I群】社会福祉法人埼玉医療福祉会丸木記念福祉メディカルセンター 秩父市立病院  
社会医療法人社団新都市医療研究会開越会開越病院  
日本赤十字社小川赤十字病院 埼玉よりの病院
- 【II群】池袋病院 医療法人蒼龍会武蔵嵐山病院 秩父第一病院 シャローム病院  
小鹿野中央病院 医療法人花仁会秩父病院 大野クリニック  
医療法人社団幸生会在宅療養支援診療所北坂戸ファミリークリニック  
宮古島徳洲会病院



総合診療内科集合2017年4月



総合診療内科集合2018年4月



総合診療内科集合2019年4月22日

### 【当該領域へのお問い合わせ先】

基本領域専門医

埼玉医科大学病院

総合診療科

基幹施設（定員6）担当：小林  
Phone:049-276-1667



QR code :担当宛てメールアドレス

PROGRAM INFORMATION

Contact



【 【 Message 】 】

私は埼玉医科大学病院で初期研修を行い、同院産婦人科に入局し後期研修を行っています。当院での後期研修を選択した理由は、主に2つあります。

ひとつめは、経験できる症例が幅広い点です。当院産婦人科は地域周産期母子医療センターとして、県西部の幅広い地域から重症例が紹介、搬送されてきます。

また、越生毛呂山地域の地域医療を担う存在として地域に密着した医療も提供しています。このような幅広い様々な症例を経験をできるのは、当科ならではないでしょうか。

ふたつ目は、充実した教育体制です。当科では全体カンファレンスを毎朝行っています。そこでは、僕ら専攻医の症例提示に対して、上級医の先生方が、ときに鋭く、ときに優しく指導して下さいます。また、難しい症例に対しては医局全体で活発な議論が交わされます。カンファレンスで得られた知識は、臨床に直結する貴重な内容ばかりです。

また、診察手技や手術も早い段階から上級医の綿密なサポートの元、積極的に経験することができます。

このように、充実した教育体制で日々臨床の研鑽を積むことができます。

もし、当科での研修に興味がある方はお気軽にご連絡ください。皆さんと一緒に切磋琢磨できる日を楽しみにしております。

埼玉医科大学病院 産婦人科 助教（専攻医） 山口友基

【 【 Message 】 】

私は他大学を卒業後、埼玉医科大学病院で初期研修を行い、そのまま後期研修も当院を選択しました。当院を選択した理由は、なんといっても症例数の多さです。平成30年度から新専門医制度が始まり、内科専門医を獲得するためにはJ-Oslerに症例登録が必須となりました。その数は最低56疾患群、160症例以上となっております。この要件を満たすには、症例数の多い病院でなければなりません。その点、埼玉医科大学病院は周辺に病院が少なく、地域の市中病院のような役割も担っているため、受診する患者さんの数は圧倒的に多くなっております。そして、希望すれば埼玉医科大学国際医療センターや埼玉医科大学総合医療センターで研修を行うことも可能であり、自由度の高いローテーションを組むことができます。

また、当院は教育や研究にも力を入れており、優秀で指導熱心な先生方も多く、サポート体制も整っています。例えば、現在は専攻医向けに週1回、総合診療内科の循環器の先生による心エコーセミナーが開かれ、心エコーの当て方を一から教えて頂いています。

後期研修先を迷っている方は是非一度、見学にいらしてください。お待ちしております。

埼玉医科大学病院 脳神経内科・脳卒中内科 助教（専攻医） 富永恵理



Your Happiness Is Our Happiness

# SAITAMA MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL

*High Quality Teaching General Hospital*



SAITAMA MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL  
SENIOR RESIDENT  
PROGRAM INFORMATION